

山本富士夫よりコメント（その2）

高浜原発4号機の汚染水漏れについて

汚染水漏れについて、「弁のボルトの締め付けが緩く、すき間から漏れた」、「この弁のボルトは2009年1月の定期検査以降、締め付けを確認していない」と報じられています（福井新聞2月23日）。どの新聞記事を見ても、当該の弁の写真が掲載されておらず、ことの重大性が書かれていません。実は、その弁を含む配管系統は、一次冷却水系の不純物除去のため安全運転上きわめて重要なものです。漏れ出た汚染水（**34** リットル、**6** 万ベクレル）は人が飲めないほどの放射能を持っていますので、作業員の被ばくが心配されます。今回の汚染水漏れ事故は、関電の杜撰さと再稼働へのあせりを物語っているといえるでしょう。やはり、高浜原発の再稼働は許せません。